

第15章 準備書記載事項の修正の概要

「環境影響評価法」（平成9年法律第81号）第20条第1項の規定及び「電気事業法」（昭和39年法律第170号）第46条の13の規定に基づく準備書についての大阪府知事の意見を勘案し、「電気事業法」第46条の14第1項の規定に基づく準備書について経済産業大臣の勧告を踏まえ、準備書の記載内容の見直しを行い、その記載事項を修正した。

修正の概要は、第15-1表のとおりである。

第15-1表(1) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第2章 対象事業の目的及び内容 2.1 対象事業の目的	2-1	温室効果ガス排出量の削減目標に関する記載を更新した。	より適切な記載とした。
2.2 対象事業の内容 2.2.5 特定対象事業の主要設備の配置計画その他の土地の利用に関する事項 第2.2.5-1図	2-8	他の図に合わせ、図中に道路を追記した。	誤記を修正した。
第2.2.5-2図	2-9	図に吸気フィルターの名称を追記した。	より詳細な記載とした。
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項 1. 工事期間及び工事工程 (2) 工事工程 第2.2.6-1表	2-11	注釈に将来撤去する設備に関する記載を追記した。	より詳細な記載とした。
7. 工事中の排水に関する事項 第2.2.6-4図	2-22	工事排水の海域への排出口の位置を追記した。	より詳細な記載とした。
2.2.9 供用開始後の定常状態における燃料使用量、給排水量その他の操業規模に関する事項 11. 温室効果ガス	2-40	温室効果ガス排出量の削減目標に関する記載を更新した。	より適切な記載とした。
	2-40	二酸化炭素の年間排出量及び排出原単位の表を追加し、その内容を追記した。	より詳細な記載とした。
	2-41	二酸化炭素の年間排出量及び排出原単位の表を追加し、その内容を追記した。	より詳細な記載とした。
12. 緑化計画に関する事項 第2.2.9-14表	2-41	緑地面積、緑地面積率等を追加した。	より詳細な記載とした。
第2.2.9-5図	2-42	図中の高木に高さを追記した。	より詳細な記載とした。
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然的状況 3.1.1 大気環境の状況 1. 気象の状況 第3.1.1-1図	3-4	出典の表記を修正した。 <修正前> 気象観測所一覧 <修正後> 地域気象観測所一覧	誤記を修正した。
2. 大気質の状況 (2) 大気質の状況 ① 二酸化硫黄 (SO ₂)	3-9	二酸化硫黄 (SO ₂) における年平均値の経年変化の傾向に関する記載を修正した。	より適切な記載とした。

第 15-1 表(2) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
2. 大気質の状況 (2) 大気質の状況 ① 二酸化硫黄 (SO ₂)	3-9	<p>二酸化硫黄 (SO₂) における環境基準の短期的評価に関する記載を修正した。</p> <p><修正前> 環境基準の長期的評価及び短期的評価は、すべての測定局 (有効測定局でない一般局 1 局を除く) で適合している。</p> <p><修正後> 環境基準の長期的評価は、すべての測定局 (有効測定局でない一般局 1 局を除く) で適合しているが、<u>短期的評価は、一般局の2局で上回っている。</u></p>	誤記を修正した。
⑥ 光化学オキシダント	3-20	光化学オキシダントの令和5年度の測定結果の評価は、改定前の環境基準が適用される旨を追記した。	より詳細な記載とした。
4. 振動の状況 (2) 道路交通振動の状況 第3.1.1-23表	3-29	表中の番号を第3.1.1.1-8図の図中番号に合わせ修正した。	より適切な記載とした。
3.1.2 水環境の状況 1. 水象の状況 (3) 流況	3-32	出典を追記した。	より詳細な記載とした。
2. 水質の状況 (1) 水質汚濁発生源の状況 第 3.1.2-1 表	3-37	<p>事業所数から申請及び届出件数に修正した。</p> <p><修正前> 大阪市では法規制対象は 157 事業所、条例規制対象は 1 事業所、堺市では法規制対象は 98 事業所、条例規制対象は 9 事業所となっている。大阪府では法規制対象は 1,054 事業所、条例規制対象は 61 事業所となっている。</p> <p><修正後> 大阪市では法規制対象は 157 <u>件</u>、条例規制対象は 1 <u>件</u>、堺市では法規制対象は 98 <u>件</u>、条例規制対象は 9 <u>件</u>となっている。大阪府では法規制対象は 1,054 <u>件</u>、条例規制対象は 61 <u>件</u>となっている。</p> <p><修正前> 第 3.1.2-1 表 事業所数</p> <p><修正後> 第 3.1.2-1 表 <u>申請及び届出件数</u></p>	誤記を修正した。

第 15-1 表(3) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(2)水質の状況 ③地下水 a. 地下水水質	3-52	地下水の水質測定結果に関する記載を修正した。 <修正前> テトラクロロエチレン1地点(堺市堺区南安井町)、ふっ素1地点(大阪市住之江区御崎)、ほう素1地点(大阪市此花区島屋)において環境基準を上回っている。 <修正後> ふっ素1地点(大阪市住之江区御崎)、ほう素1地点(大阪市此花区島屋)において環境基準を上回っている。	誤記を修正した。
3.1.3 土壌及び地盤の状況 1. 土壌の状況 (2)対象事業実施区域の土地利用履歴及び土壌汚染の状況	3-60	対象事業実施区域内の「形質変更時要届出区域」の指定解除について追記した。	より詳細な記載とした。
3.1.4 地形及び地質の状況 1. 地形の状況 (2)海底の地形 第3.1.4-2図	3-64	等深線の単位(m)を追記した。	より詳細な記載とした。
第3.1.4-3図	3-65	出典の発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 5. 生態系の状況 (3)重要な自然環境のまとまりの場	3-102 3-103	(3)重要な自然環境のまとまりの場の項目を追記した。	より詳細な記載とした。
3.2 社会的状況 3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況 1. 学校、病院等 第3.2.5-1表、第3.2.5-2表	3-130 3-131	対象事業実施区域から施設までの距離を追記した。	より詳細な記載とした。
2. 住宅の配置 第3.2.5-3図	3-134	対象事業実施区域と最寄りの住居系用途地域との距離を追記した。	より詳細な記載とした。
3.2.8 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容 1. 公害関係法令等 (1)環境基準等 ①大気汚染 第3.2.8-1表	3-139	光化学オキシダントに係る環境基準を更新した。	より適切な記載とした。
(2)規制基準等 ①大気汚染 b. 窒素酸化物	3-152	本事業に係る窒素酸化物の総量規制基準に関する記載を追記した。	より詳細な記載とした。
⑤水質汚濁 第3.2.8-20表(1)(2)	3-164 3-165	排水基準を定める省令の改正日を更新した。	より適切な記載とした。
⑦土壌汚染	3-170	対象事業実施区域内の「形質変更時要届出区域」の指定解除について追記した。	より詳細な記載とした。
2. 自然関係法令等 第3.2.8-7図	3-181	大阪市と堺市の景観計画区域の境界線を修正した。	より適切な記載とした。

第 15-1 表(4) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
<p>第8章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法</p> <p>8.1 環境影響評価の項目の選定</p> <p>8.1.1 環境影響評価の項目</p> <p>第8.1.1-1表</p>	8-2	<p>「火力発電所の一般的な事業の内容と本事業の内容との比較」における地形改変及び施設の存在に関する比較の結果についての記載を修正した。</p>	より適切な記載とした。
<p>2. 主な地域特性</p> <p>(1) 大気環境の状況</p>	8-3	<p>二酸化硫黄の環境基準の短期的評価に関する記載を修正した。</p> <p><修正前></p> <p>20km圏内において、・・・浮遊粒子状物質の短期的評価の1局（一般局1局）以外のすべての有効測定局で環境基準に適合している。</p> <p><修正後></p> <p>20km圏内において、・・・<u>二酸化硫黄の短期的評価の2局（一般局2局）及び浮遊粒子状物質の短期的評価の1局（一般局1局）以外のすべての有効測定局（二酸化硫黄及び二酸化窒素の有効測定でない一般局1局ずつを除く）</u>で環境基準に適合している。</p>	誤記を修正した。
		<p>二酸化硫黄の年平均値の経年変化に関する記載を修正した。</p>	より適切な記載とした。
		<p>環境騒音、道路交通騒音に関する記載を修正した。</p> <p><修正前></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の周辺において、令和4年度の環境騒音（5地点）は、すべての測定点で昼間の時間帯及び夜間の時間帯で環境基準に適合している。 対象事業実施区域の周辺において、令和4年度の道路交通騒音（25地点）は、19地点で昼間の時間帯、17地点で夜間の時間帯で環境基準に適合しており、6地点で昼間の時間帯、8地点で夜間の時間帯で環境基準を上回っている。また、昼間、夜間ともにすべての地点で、騒音規制法に定める自動車騒音の要請限度を下回っている。 <p><修正後></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域の周辺において、令和5年度の環境騒音（<u>1</u>地点）は、測定点で昼間の時間帯及び夜間の時間帯で環境基準に適合している。 対象事業実施区域の周辺において、令和5年度の道路交通騒音（<u>22</u>地点）は、19地点で昼間の時間帯、<u>14</u>地点で夜間の時間帯で環境基準に適合しており、<u>3</u>地点で昼間の時間帯、8地点で夜間の時間帯で環境基準を上回っている。また、騒音規制法に定める自動車騒音の要請限度は、<u>昼間はすべての地点で下回っており、夜間は1地点で上回っている。</u> 	誤記を修正した。

第 15-1 表(5) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(4) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	8-4	<p>動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況に関する記載を修正した。</p> <p><修正前></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域の周辺において、哺乳類3種、・・・、昆虫類43種、・・・ ・対象事業実施区域の周辺海域において、海棲哺乳類2種、魚類3種、底生生物及び付着生物（動物）42種、・・・ ・対象事業実施区域を含む「市街地」及び「造成地・工場地帯」では、雑草群落を生産者として、昆虫類やニホンアマガエル等の両生類が下位消費者、クマネズミ等の小型哺乳類やハクセキレイ等の小型鳥類が中位消費者、キツネ等の中型哺乳類やハヤブサ等の猛禽類が上位消費者となる生態系が成立していると想定される。 <p><修正後></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象事業実施区域の周辺において、哺乳類3種、・・・、昆虫類42種、・・・ ・対象事業実施区域の周辺海域において、海棲哺乳類2種、魚類6種、底生生物及び付着生物（動物）53種、・・・ ・対象事業実施区域を含む「樹林地」、「草地」等では、雑草群落等を生産者として、昆虫類やニホンアマガエル等の両生類が下位消費者、クマネズミ等の小型哺乳類やツグミ等の小型鳥類が中位消費者、キツネ等の中型哺乳類やノスリ等の猛禽類が上位消費者となる生態系が成立していると想定される。 	誤記を修正した。
8.2 調査、予測及び評価の手法の選定 8.2.1 調査、予測及び評価の手法 第8.2.1-1表(16)(19)(21)(23)(28)	8-28 8-31 8-33 8-35 8-40	JISの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
第8.2.1-1表(17)(24)	8-29 8-36	<p>入手可能な最新資料の年度を修正した。</p> <p><修正前></p> <p>入手可能な最新の資料（令和4年度）とした。</p> <p><修正後></p> <p>入手可能な最新の資料（令和5年度）とした。</p>	誤記を修正した。
第8.2.1-1表(20)	8-32	騒音予測モデルの名称の表記を修正した。	より適切な記載とした。
第8.2.1-1表(21)	8-33	予測の基本的な手法に、ISO 9613-2:1996による旨を追記した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(6) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第 8. 2. 1-1 表(26) (28)	8-38 8-40	入手可能な最新資料の年度の記載を修正した。 <修正前> 入手可能な最新の資料(令和4年度)とした。 <修正後> 入手可能な最新の資料(昭和51年)とした。	誤記を修正した。
第8. 2. 1-1図(3)	8-42	凡例の記載を(民家等が存在する地域)から(近傍住居等)に統一した。	より適切な記載とした。
第8. 2. 1-2表(1) (4) (6)	8-43 8-46 8-48	水環境の現地調査の調査地点について、鉛直方向の測定点を追記した。	より詳細な記載とした。
第8. 2. 1-6表(1)	8-74	調査の基本的な手法における記載を、主要な眺望点から主要な眺望点候補地点に統一した。	より適切な記載とした。
第10章 環境影響評価の結果 10. 1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果 10. 1. 1 大気環境 1. 大気質 (1) 調査結果の概要 ①気象の状況 b. 現地調査 (c) 高層気象 エ. 観測結果 (ウ) 気温 ii. 気温勾配	10. 1. 1-54	不等号の向きを修正した。 <修正前> 地上～高度 50 mでは安定 ($\leq -0.2^{\circ}\text{C}/100\text{m}$) が多く48.9% <修正後> 地上～高度 50 mでは安定 ($\geq -0.2^{\circ}\text{C}/100\text{m}$) が多く48.9%	誤記を修正した。
③大気環境濃度の解析 a. 解析対象地点 (b) 浮遊粒子状物質 (SPM) 第10. 1. 1. 1-33表	10. 1. 1-108	表中の測定局名を修正した。 <修正前> No. 37 八尾市役所 <修正後> No. 37 八尾市保健所	誤記を修正した。
(2) 予測及び評価の結果 ①工事の実施 a. 工事用資材等の搬出入 (b) 窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の予測 エ. 予測方法 (イ) 予測条件 i. 煙源及び台数の諸元 (i) 交通量 第10. 1. 1. 1-37表	10. 1. 1-159	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10. 1. 1. 1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
(c) 粉じん等の予測 オ. 予測結果 第10. 1. 1. 1-43表	10. 1. 1-167	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10. 1. 1. 1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
②土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働(排ガス) 第10. 1. 1. 1-29図	10. 1. 1-182	矢印の位置を修正した。	より適切な記載とした。

第 15-1 表(7) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(d) 特殊気象条件下の予測 ア. 煙突ダウンウォッシュ発生時 (イ) 予測方法 ii. 予測条件 (i) 煙源の諸元 第10.1.1.1-57表	10.1.1-200	注釈に冷機起動時の条件を追記した。	より詳細な記載とした。
ウ. 逆転層形成時 (イ) 予測方法 ii. 予測条件 (ii) 逆転層突き抜け状況	10.1.1-210	夏季を想定した環境大気温度35℃における予測に伴う条件について追記した。	より詳細な記載とした。
(ウ) 予測結果	10.1.1-212	夏季を想定した環境大気温度35℃における予測結果を追記した。	より詳細な記載とした。
エ. 内部境界層によるフュミゲーション発生時 (ウ) 予測結果	10.1.1-222	夏季を想定した環境大気温度35℃における予測結果を追記した。	より詳細な記載とした。
b. 資材等の搬出入 (b) 窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の予測 エ. 予測方法 (イ) 予測条件 i. 煙源及び台数の諸元 (i) 交通量 第10.1.1.1-74表	10.1.1-235	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10.1.1.1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
(c) 粉じん等の予測 ウ. 予測結果 第10.1.1.1-78表	10.1.1-239	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10.1.1.1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
(d) 評価の結果 ア. 環境影響の回避・低減に関する評価	10.1.1-240	「浮遊粒子状物質」の記載漏れを修正した。 <修正前> 資材等の搬出入に伴う窒素酸化物及び粉じん等の影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。 <修正後> 資材等の搬出入に伴う窒素酸化物、 <u>浮遊粒子状物質</u> 及び粉じん等の影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。	誤記を修正した。
2. 騒音 (1) 調査結果の概要 ① 道路交通騒音の状況 b. 現地調査 (d) 調査方法	10.1.1-241	JISの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
(b) 調査地点 第10.1.1.2-1図	10.1.1-242	凡例の記載を（民家等が存在する地域）から（近傍住居等）に統一した。	より適切な記載とした。
④ 環境騒音の状況 a. 現地調査 (d) 調査方法	10.1.1-254	JISの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(8) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(2) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 a. 工事用資材等の搬出入 (e) 予測方法 イ. 予測条件 ア) 交通量 第10.1.1.2-6表	10.1.1-262	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10.1.1.1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
② 土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働（機械等の稼働） (e) 予測の方法	10.1.1-273	予測手法について、ISO 9613-2:1996の使用及び施設の稼働に伴い発生する騒音が定常音であり、 L_{A5} や L_{Aeq} と同等である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
7. 計算式	10.1.1-274	JIS及びISOの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
b. 資材等の搬出入 (e) 予測方法 イ. 予測条件 ア) 交通量 第10.1.1.2-13表	10.1.1-284	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10.1.1.1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
3. 振動 (1) 調査結果の概要 ① 道路交通振動の状況 b. 現地調査 (d) 調査方法	10.1.1-287	JISの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 b. 現地調査 (d) 調査方法 7. 道路構造	10.1.1-290	JISの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
④ 環境振動の状況 a. 現地調査 (d) 調査方法	10.1.1-292	JISの発行年を追記した。	より詳細な記載とした。
(2) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 a. 工事用資材等の搬出入 (e) 予測方法 イ. 予測条件 ア) 交通量 第10.1.1.3-6表	10.1.1-299	表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10.1.1.1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。
② 土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働（機械等の稼働） (e) 予測手法 イ. 予測条件 第10.1.1.3-11表	10.1.1-311	循環水ポンプの振動レベルを修正した。 <修正前> 56dB <修正後> <u>66dB</u>	誤記を修正した。

第 15-1 表(9) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由								
b. 資材等の搬出入 (e) 予測方法 イ. 予測条件 (ア) 交通量 第10.1.1.3-13表	10.1.1-317	市道住之江区第8905号線の将来の発電所関係車両(大型車)及び合計の交通量(台)を修正した。 <修正前> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">120</td> <td style="text-align: center;">5,250</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">278</td> <td style="text-align: center;">15,134</td> </tr> </table> <修正後> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;"><u>116</u></td> <td style="text-align: center;"><u>5,246</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>274</u></td> <td style="text-align: center;"><u>15,130</u></td> </tr> </table>	120	5,250	278	15,134	<u>116</u>	<u>5,246</u>	<u>274</u>	<u>15,130</u>	誤記を修正した。
		120	5,250								
278	15,134										
<u>116</u>	<u>5,246</u>										
<u>274</u>	<u>15,130</u>										
		表の注釈に過去の道路交通センサスの結果が第10.1.1.1-34表である旨を追記した。	より詳細な記載とした。								
10.1.2 水環境 1. 水質 (1) 調査結果の概要 ①水の濁りの状況 a. 文献その他の資料調査 (e) 調査結果 第10.1.2.1-1表	10.1.2-3	注釈3に水質データの測定点毎の測定層を記載した。	より適切な記載とした。								
		注釈5の記載を修正した。 <修正前> 「令和2年以降」 <修正後> 「令和2年度以降」	誤記を修正した。								
②水温の状況 b. 現地調査 (e) 調査結果 (ウ)水温・塩分鉛直分布 第10.1.2.1-4図(2)(4)(6)(8) 第10.1.2.1-5図(2)(4)(6)(8)	10.1.2-15	潮位のデータが大阪検潮所のデータである旨を各図の注釈に追記した。	より詳細な記載とした。								
	10.1.2-17										
	10.1.2-19										
	10.1.2-21										
	10.1.2-23										
	10.1.2-25										
	10.1.2-27										
10.1.2-29											
第10.1.2.1-6図(1)～(12)	10.1.2-30 ～ 10.1.2-41	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせた。また海底を示す下線を凡例に合わせ修正した。 潮位のデータが、大阪検潮所のデータである旨を各図の注釈に追記した。	より適切な記載とした。								
	10.1.2-44	潮流に関する表記を修正した。 <修正前> 主太陽日周期 <修正後> 主太陰日周期	誤記を修正した。								
③流況の状況 a. 現地調査 (e) 調査結果 イ. 流れの周期性 第10.1.2.1-9図(1)～(4)	10.1.2-47 10.1.2-48	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。								

第 15-1 表(10) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第10.1.2.1-10図(1)～(8)	10.1.2-49 ～ 10.1.2-56	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。 潮位のデータが、大阪検潮所のデータである旨を各図の注釈に追記した。	より詳細な記載とした。
第10.1.2.1-11図(5)(6)	10.1.2-61 10.1.2-62	図中のエネルギースペクトラムのグラフ抜きを修正した。	誤記を修正した。
第10.1.2.1-12図(1)～(4) 第10.1.2.1-13図(1)～(4)	10.1.2-67 ～ 10.1.2-70	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
(2) 予測及び評価の結果 ②土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働（温排水：水温） (d) 予測方法 ア. 計算式 ア) 放水流または河川流の流速算定式	10.1.2-78 10.1.2-78 ～ 10.1.2-80	見出しの記載を修正した。 計算式のフォントを揃え、潮流の式等の添え字及び流速の鉛直分布を示す関数形を追記し、界面抵抗の計算式を修正した。	より適切な記載とした。 より適切な記載とした。
イ. 予測条件 (イ) 計算上設定した温水層の厚さ	10.1.2-80	温水層の厚さの設定に関して追記した。	より詳細な記載とした。
(ウ) 拡散係数	10.1.2-80	計算領域の縦軸・横軸の表記を修正した。	より適切な記載とした。
(カ) 熱交換係数 第10.1.2.1-11 表	10.1.2-82	計算領域の縦軸・横軸の表記を修正した。 放水流速の計画値を追記した。	より適切な記載とした。 より詳細な記載とした。
10.1.3 動物 2. 海域に生息する動物 (1) 調査結果の概要 ①海生動物の主な種類及び分布の状況 a. 魚等の遊泳動物 (b) 現地調査 オ. 調査結果 ア) 刺網調査	10.1.3-78	南方系の魚類の確認状況を追記した。	より詳細な記載とした。
b. 潮間帯生物（動物） (b) 現地調査 オ. 調査結果 (イ) 枠取り調査	10.1.3-84	既設設備の稼働前の調査結果からの変化について追記した。	より詳細な記載とした。
第10.1.3.2-4図(1)(2)	10.1.3-85 10.1.3-86	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
c. 底生生物 (b) 現地調査 オ. 調査結果 ア) マクロベントス 第10.1.3.2-6図(1)(2)	10.1.3-91 10.1.3-92	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
(イ) メガロベントス 第10.1.3.2-7図(1)(2)	10.1.3-94 10.1.3-95	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
d. 動物プランクトン (b) 現地調査 オ. 調査結果 第10.1.3.2-8図(1)～(4)	10.1.3-101 ～ 10.1.3-104	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。

第 15-1 表(11) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
e. 卵・稚仔 (b) 現地調査 ホ. 調査結果 (ア) 卵 第10.1.3.2-9図 (1)～(4)	10.1.3-107 ～ 10.1.3-110	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
(イ) 稚仔 第10.1.3.2-10図 (1)～(4)	10.1.3-112 ～ 10.1.3-115	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
第10.1.3.2-10図 (2)	10.1.3-113	補完調査についての注釈を追記した。	より適切な記載とした。
(2) 予測及び評価の結果 ① 土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働 (温排水) (d) 予測方法	10.1.3-125	現地調査時の既設発電所の稼働状況等や周辺海域の藻場の存在状況等について追記した。	より詳細な記載とした。
10.1.4 植物 1. 重要な種及び重要な群落 (海域に生育するものを除く。) (1) 調査結果の概要 ① 陸生植物に関する植物相及び植生の状況 b. 植生の状況 (b) 現地調査 ホ. 調査結果 第10.1.4.1-2表(1) 第10.1.4.1-3図	10.1.4-6 10.1.4-8	先駆性植物群落等の表記を修正した。	より適切な記載とした。
② 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況 b. 現地調査 (c) 調査結果 第10.1.4.1-4表	10.1.4-12	ツルソバの現地確認状況について、詳細に記載した。	より詳細な記載とした。
(2) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用 a. 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在 (a) 環境保全措置	10.1.4-16	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> 生育個体が引き続き確認された場合には、 <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
(e) 予測結果 イ. キンラン (イ) 確認状況及び影響予測 i. 生育地への影響	10.1.4-17	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> 生育個体が引き続き確認された場合には、 <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
ウ. ツルソバ (イ) 確認状況及び影響予測 i. 生育地への影響	10.1.4-17 10.1.4-18	ツルソバの生育地への影響に関する予測結果の根拠について、詳細に記載した。	より詳細な記載とした。

第 15-1 表(12) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(f) 評価の結果 7. 環境影響の回避・低減に関する評価	10. 1. 4-18	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
2. 海域に生育する植物 (1) 調査結果の概要 ①海生植物の主な種類及び分布の状況 a. 潮間帯生物 (植物) (b) 現地調査 ㊦. 調査結果 (イ) 採取り調査 第10. 1. 4. 2-3図 (1) (2)	10. 1. 4-24 10. 1. 4-25	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
c. 植物プランクトン (b) 現地調査 ㊦. 調査結果 (イ) 植物プランクトン 第10. 1. 4. 2-6図(1)～(4)	10. 1. 4-38 ～ 10. 1. 4-41	対象事業実施区域の体裁を他の図に合わせ、修正した。	より適切な記載とした。
②重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況 a. 文献その他の資料調査 (c) 調査結果	10. 1. 4-42	確認種及び図面番号を修正した。 <修正前> 緑藻植物のマキヒトエ、スジアオノリ、 紅藻植物のトサカノリ、ホソアヤギヌの 4種が確認されている。 <修正後> 緑藻植物のマキヒトエ、スジアオノリ、 紅藻植物の <u>アサクサノリ、アヤギヌ</u> 、 ホソアヤギヌの <u>5種</u> が確認されている。 <修正前> 第3. 1. 5-2図 <修正後> 第3. 1. 5-3図	誤記を修正した。
(2) 予測及び評価の結果 ①土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働 (温排水) (d) 予測方法	10. 1. 4-45	現地調査時の既設発電所の稼働状況等や周辺海域の藻場の存在状況等について追記した。	より詳細な記載とした。
10. 1. 5 生態系 1. 地域を特徴づける生態系 (1) 動植物その他の自然環境に係る概況 ①調査結果の概要 b. 現地調査 (b) 調査結果 7. 動植物の概要 第10. 1. 5-2表 イ. 地域の生態系の概要 第10. 1. 5-3表 第10. 1. 5-2図	10. 1. 5-2 ～ 10. 1. 5-4 10. 1. 5-6	先駆性植物群落の表記を修正した。	より適切な記載とした。

第 15-1 表(13) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(2)複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況 ①注目種の選定 b. 典型性の注目種	10. 1. 5-8	典型性の注目種における小鳥類の記載を小型鳥類に統一した。	より適切な記載とした。
②上位性の注目種（ハヤブサ）の調査結果 c. 現地調査 (a) 上位性の注目種（ハヤブサ） カ. 調査結果 (ア) 生息状況	10. 1. 5-15	ハヤブサの確認状況についての詳細を追記した。	より詳細な記載とした。
(イ) 餌資源量 第10. 1. 5-8表(1)～(5)	10. 1. 5-20 ～ 10. 1. 5-22	注釈に餌となる鳥類の詳細を追記した。	より詳細な記載とした。
③典型性の注目種（ハクセキレイ）の調査結果 c. 現地調査 (a) 典型性の注目種（ハクセキレイ） ハ. 解析方法 (ア) ハクセキレイの好適生息環境指数の算出	10. 1. 5-33	確認例数に採餌例を含むことを追記した。	より詳細な記載とした。
10. 1. 6 景観 1. 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 (1) 調査結果の概要 ②景観資源の状況 a. 文献その他の資料調査 (b) 調査方法	10. 1. 6-7	参考文献名を追記した。	より適切な記載とした。
10. 1. 8 廃棄物等 1. 産業廃棄物 (1) 予測及び評価の結果 ①工事の実施 a. 造成等の施工による一時的な影響 (b) 予測 エ. 予測結果 第 10. 1. 8-1 表	10. 1. 8-2	産業廃棄物の種類の誤記を修正した。 <修正前> 発砲スチロール <修正後> 発泡スチロール	誤記を修正した。
②土地又は工作物の存在及び供用 a. 廃棄物の発生 (c) 評価の結果 ア. 環境影響の回避・低減に関する評価	10. 1. 8-5	産業廃棄物の発生量及び処分量が増加することを踏まえた記載に修正した。	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
10. 1. 9 温室効果ガス等 1. 二酸化炭素 (1) 予測及び評価の結果 ①土地又は工作物の存在及び供用 a. 施設の稼働（排ガス） (c) 評価の結果 イ. 環境保全の基準等との整合性	10. 1. 9-3	温室効果ガス排出量の削減目標に関する記載を更新した。	より適切な記載とした。
10. 2 環境の保全のための措置 10. 2. 1 環境の保全のための措置の基本的な考え方	10. 2-1 10. 2-2	環境の保全のための基本的な考え方を追記した。	経済産業大臣の勧告を踏まえ記載内容を見直した。

第 15-1 表(14) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
10.2.2 環境保全措置の検討の経過及び結果 3. 工事の実施における環境保全措置の検討 (1) 大気環境 (大気質、騒音、振動)、人と自然との触れ合いの活動の場—工事用資材等の搬出入—	10.2-4	記載の誤記を修正した。 <修正前> 発進 <修正後> <u>急</u> 発進	誤記を修正した。
(4) 動物 (重要な種及び注目すべき生息地)、植物 (重要な種及び重要な群落)、生態系 (地域を特徴づける生態系) —造成等の施工による一時的な影響—	10.2-4	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
4. 土地又は工作物の存在及び供用における環境保全措置の検討 (1) 大気環境 (大気質) —施設の稼働 (排ガス) —	10.2-5	大気環境に係る取組を追記した。	経済産業大臣の勧告を踏まえ記載内容を見直した。
(4) 水環境 (水質：水温、その他：流向及び流速) —施設の稼働 (温排水) —	10.2-6	水環境に係る取組を追記した。	経済産業大臣の勧告を踏まえ記載内容を見直した。
(5) 動物 (重要な種及び注目すべき生息地)、植物 (重要な種及び重要な群落)、生態系 (地域を特徴づける生態系) —地形改変及び施設の存在—	10.2-6	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
(8) 温室効果ガス等 (二酸化炭素) —施設の稼働 (排ガス) —	10.2-7	温室効果ガス削減に係る取組を追記した。	経済産業大臣の勧告を踏まえ記載内容を見直した。
10.2.3 環境保全措置の検討結果の整理 1. 「工事の実施」に係る環境保全措置 (3) 動物、植物、生態系	10.2-14	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
2. 「土地又は工作物の存在及び供用」に係る環境保全措置 (3) 動物、植物、生態系	10.2-21	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
	10.2-22	表中の誤記を修正した。 <修正前> 動植・植物 <修正後> 動物・植物	誤記を修正した。

第 15-1 表(15) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
10.3 事後調査 10.3.2 検討結果の整理 1. 「工事の実施」に係る事後調査 (3)動物、植物、生態系	10.3-3	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
(5)廃棄物等	10.3-3	表中の誤記を修正した。 <修正前> 工事の実施の際し <修正後> <u>工事の実施に際し</u>	誤記を修正した。
2.土地又は工作物の存在及び供用 (3)動物、植物、生態系	10.3-5	キンランの移植についての記載を修正した。 <修正前> <u>生育個体が引き続き確認された場合には、</u> <修正後> 削除	大阪府知事の意見を勘案し記載内容を見直した。
10.4 環境影響の総合的な評価 10.4-3表(15)	10.4-52	タイトルの誤記を修正した。 <修正前> 造成等の施よる一時的な影響 <修正後> 造成等の <u>施工</u> による一時的な影響	誤記を修正した。
10.4 環境影響の総合的な評価	10.4-46 10.4-47 10.4-48 10.4-50 10.4-52 10.4-54 10.4-56 10.4-59 10.4-77 10.4-82 10.4-86 10.4-111	「10.1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果」における修正を反映した。	より適切な記載とした。